

国際シンポジウム「外国人材登用時代における日本語教育 －“日本語パートナーズ”派遣事業の経験をもとにして－」開催 6月27日（木） 日経ホール

国際交流基金アジアセンターは、日本と東南アジアの文化交流の祭典「響きあうアジア2019」の一環として、6月27日（木）に国際シンポジウム「外国人材登用時代における日本語教育－“日本語パートナーズ”派遣事業の経験をもとにして－」を開催します。

“日本語パートナーズ”は、2014年から、ASEAN諸国を中心とするアジアの中等・高等教育機関などで、現地の日本語教師と学習者のパートナーとして授業のアシスタントや日本文化の紹介を行うとともに、現地の言語や文化を学び、日本とアジアの架け橋として活動しています。

本シンポジウムは、これまでの“日本語パートナーズ”派遣事業の成果を紹介し、日本における外国人材受け入れや多文化共生への関心が高まる状況において、“日本語パートナーズ”の意義や今後の可能性について議論します。つきましては下記の通り実施いたしますので、この機会にぜひ貴媒体にてご取材・ご掲載を賜りたくご案内申し上げます。当日ご取材いただける方は、6月24日（月）17時までに下記広報担当者まで事前にご連絡ください。



記

事業名称：

国際シンポジウム「外国人材登用時代における日本語教育－“日本語パートナーズ”派遣事業の経験をもとにして－」

主催：国際交流基金アジアセンター

開催日程：2019年6月27日（木）13時30分～17時（13時開場）

会場：日経ホール（東京都千代田区大手町1丁目3-7 日経ビル）

協力：日本経済新聞社グローバル事業局

主な内容：「双方向の交流から生まれる絆と広がる共感」

「これからの日本を見据えた“日本語パートナーズ”事業の意義」

パネリスト：“日本語パートナーズ”経験者、“日本語パートナーズ”受入校の日本語教師

道傳 愛子（NHK国際放送局 シニア・ディレクター）

キティ・プラサートスック（タマサート大学副学長）

吹野 豪（リンクウイズ株式会社代表取締役）

モデレーター：迫田久美子（広島大学特任教授）

西原 鈴子（特定非営利活動法人日本語教育研究所理事長）



“日本語パートナーズ”活動風景

以上

アジアの絆を強くする。

ASIAcenter
JAPAN FOUNDATION

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp